



3月1日～7日は「春の火災予防運動」週間です

消防本部・小野田消防署(☎83-0119) 山陽消防署(☎71-1900) 埴生出張所(☎76-0348)

防火標語

(全国統一防火標語) 「消さないで あなたの心の 注意の火。」
(山口県防火標語) 「声かけて 不審火防ごう 両隣り」

重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災予防対策の推進
- (3) 林野等火災予防対策の推進
- (4) 事業所の防火安全対策の推進



住宅防火 いのちを守る「3つの習慣」「4つの対策」

▶ 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

▶ 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



自分探し

「青年は教えられることより、刺激されることを欲するものである」(ゲーテ『詩と真実』より)

子どもは、自然、環境、生活から様々な刺激や感動を敏感に感じ取り、「こうしたい、こうなりたい、あんな人になりたい」という思いを自ら育みます。「～がしたい、なりたい」が自分探しの第一歩のように思います。

私たちの周囲には、昔よりもはるかに多くの刺激が提供されており、享乐的な刺激も多く存在します。特に心配されるのは、最も吸収力が強く、しかも免疫を持たない子どもへの影響です。「子ども社会は大人社会の鏡」、社会への影響が正に濃縮して近年の子どもたちに現れ、「自分探し」の不得意な子どもも増えています。

現在、これらの対策として、全国で、また本市においても「生活改善」や「キャリア教育(自己にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育む教育)」の推進が行われています。これらの取組みは、地域、家庭、学校の連携、協力が不可欠であり、子どもの前でリーダーシップを発揮するのは、やはり親であり、周囲の大人であると考えます。

本市では、今年度市内の全中学2年生を対象に、長期間職場体験をしてもらおうという試み「キャリア教育実践プロジェクト」を実施しています。多くの市民の方々、事業所のご協力をいただきありがとうございます。このような事業の取組みなどを通じ、子ども自らが「自分探し」の夢を描くことができるよう教育行政の推進を行っていきたいと考えます。(学校教育課)



～理科大生から 市民のみなさまへ②～

第2回目は、今春、京都大学大学院
エネルギー科学研究科に進学する齋藤
大介君(電子・情報工学科4年)です。



私が千葉の郷里を離れ、大学の学生宿舎に入居したのが4年前。それから様々なことがありました。

まだ大学に入りたての頃、学生宿舎にいた私は、管理人の皆様に大変お世話になりました。管理人の方々には色々なことを教えてもらったおかげで、私もすぐこの生活に慣れることができました。

また、3年生の夏、中国電力新小野田発電所にインターンシップ(職場体験)に行った時、発電所の皆様は忙しい仕事の合間を縫って、学生の私に大変熱心に講義や指導をしていただきました。ここでは、大学では得られない多くの知識や社会人としての厳しさを学ぶことができました。

そして今年、おのだサッカー交流公園で開かれた「山陽小野田市民まつり」に参加できたことはたいへん良い思い出になりました。予想外に数多くの方が山口東京理科大学のブースへ見学に来られ、用意してあったペットボトルロケットは全部なくなってしまいました。

私だけでなく、山口東京理科大学の学生全員が、山陽小野田市の皆様に支えられて良い学生生活を過ごしていると思います。卒業後は山陽小野田市を離れることになりますが、4年間、本当にありがとうございました。